

後期臨床研修プログラム（耳鼻いんこう科）

I. 概要

耳鼻いんこう科は基本的疾患である中耳炎や副鼻腔炎や扁桃炎はもとより頭頸部外科領域全般の疾患を取り扱っておりその中には頭頸部の外傷や腫瘍も含まれ、取り扱う疾患や病態も多岐にわたっている。

また聴覚・平衡覚・嗅覚・味覚といった感覚器や口腔・咽頭・食道といった消化器、鼻・喉頭・気管などの呼吸器、聴覚・音声によるコミュニケーション器官といった様々な機能的な領域も含まれ、疾患に対する治療のみならず QOL に大きく関係する領域を扱うことも当科の特徴である。福岡大学筑紫病院耳鼻咽喉科はこれらの多岐にわたる領域において、問診→検査→診断→疾患の知識→治療の基本的な流れを滞りなく行えるよう耳鼻咽喉科臨床研修を行う。

II. 施設概要

福岡大学筑紫病院 315 床のうち、耳鼻いんこう科は混合病棟である 3 階北病棟を中心に 14 床を使用し治療を行っている。スタッフは坂田俊文准教授、山野貴史講師、松井郁助教の 3 名で研修指導を行う。年間の外来患者は約 6800 名、年間入院患者数は約 260 名で、年間の手術件数は 220 例程である。また、頭頸部悪性腫瘍に関しては放射線治療を要する症例が多く、当院には治療設備が無いため診断に重点を置き、福岡大学本院とタイアップして治療を行っている

III. 研修目標

1. 外来診療において、問診、耳鼻いんこう科診察、各種聴力検査、平衡機能検査、嗅覚・味覚検査、耳鼻咽喉科処置などを修得する。
2. 病棟診療において指導医のもとで数名の患者を受け持ち、基本的手術手技、術前・術後管理を修得する。

IV. 専門医認定基準

- A. 耳鼻いんこう科認定医への資格の獲得のために
 1. 日本耳鼻咽喉科学会に入会する

2. 3年以上の耳鼻咽喉科研修指定病院にて研修を行う
(福岡大学病院及び筑紫病院は指定病院への登録されている)
3. 研修記録簿に症例・学会活動などの各年度のまとめを記載
4. 認定医試験が8月上旬に行われ、合格者には同学会総会で承認された後認定医書を受理する。
5. 7年毎の更新を行う

B. 気管食道科学会専門医への資格獲得のために

1. 日本気管食道科学会に入会する
(筑紫病院耳鼻咽喉科は平成18年4月1日より気管食道科学会研修認定施設である)
2. 気管食道科学会及び認定大会に出席し、単位を修得する。
3. 200単位修得で専門医試験資格を得る
4. 専門医試験(面接を含む)が8月下旬に行われ、合格者には同学会総会で承認の後専門医書を受理する。
5. 5年毎の更新を行う

認定補聴器専門医への資格獲得のために

1. 更に日本聴覚医学会へ入会する
2. 補聴器適合判定医師研修会(年2回5日間)に出席する

連絡先：筑紫病院耳鼻いんこう科

坂田俊文 (PHS 6340)